

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
生物基礎	1	2	新編 生物基礎（東京書籍）	Let's Try NOTE 生物基礎（東京書籍）

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	7	1 編 生物の特徴 1 章 生物の多様性と共通性		○	○	11	7	3 章 体内環境を守るしくみ 後期中間考査		○	
5	9	2 章 生命活動とエネルギー 前期中間考査	○	○		12	6	4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生の多様性と遷移		○	
6	4	2 編 遺伝子とそのはたらき 1 章 生物と遺伝子			○	1	5	2 章 バイオームとその分布		○	
7	3	2 章 遺伝情報の分配	○			2	8	3 章 生態系とその保全			○
7	6	3 章 遺伝情報とタンパク質の 合成		○				後期期末考査			
8						3					
	6	3 編 生物の体内環境の維持 1 章 体内環境の維持			○						
9		前期末考査									
10	9	2 章 体内環境を保つしくみ	○								
											計 70

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・一部、上位科目の「生物」の内容を取り扱います。
- ・考査では、学習事項を元に、科学的に考える問題を出題します。知識偏重にならないように留意しましょう。
- ・考査終了毎にノートを提出してもらいます。
- ・ノートのサイズや形式は問いません。